



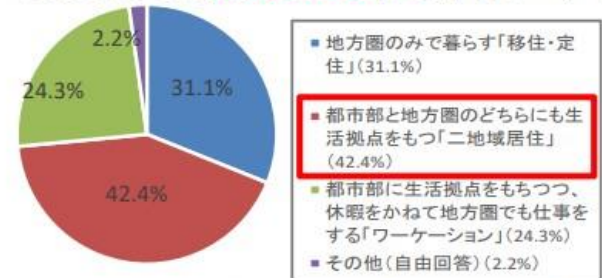
もう夏だけじゃない！

リモートワーク増加で今再びの「別荘」ブーム？ 失敗しない「二拠点居住」物件の選び方

業界初の個人向け不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション管理組合向けコンサルティングを行う「不動産の達人」株式会社さくら事務所（東京都渋谷区／社長：大西倫加）は、**現在人気が高まってきている「二拠点住宅」を選択するうえでのポイントや、注意すべき点に関する情報を公開しました。**詳しくは下記コラムをご覧ください、本件に関する取材やお問い合わせがございましたらお気軽にお問い合わせください。

新型コロナウイルスの影響によって、リモートワークに切り替わった方も多い中で、現在、当社には「二拠点居住」を希望される方からの相談が増加しております。リモートワークの普及によって、地方での暮らしを意識する人は増えたものの、移住・定住よりも「二拠点居住」志向の人が多く、首都圏から少し離れた、**これまで「別荘」として使われていた建物を購入して「二拠点居住」を始めようという人が多いようです。**しかし、住宅のプロであるホームインスペクターから見ると、勢いや雰囲気だけで「二拠点居住」の物件を決めるのは、リスクが高いことがあります。

Q.あなたの望む地方暮らしのスタイルは何ですか？(n=604)



上記のグラフは都内に住む20代以上の男女1,078名を対象に調査。そのうち地方暮らしに関心があると回答した604名が対象。）

国土交通省「空き家等の活用を通じた二地域居住の推進」（令和3年4月）より

決める前に知っておきたい！「二拠点居住」の五カ条

- その1 **二拠点目の物件は「買う」ことだけではなく、いずれ「売る」ことも視野に入れておく**
人気がなく安価な物件よりも「ニーズがある」物件を選びましょう。
- その2 **立地の特性による傷みを把握しておく**
たとえば海が近いエリアの場合は塩害、山の場合は凍害、雪が降る地域では雪害、風の強い地域では風害、森では小動物による家屋の被害が出ることもあります。
- その3 **家屋のデザインによる傷みを把握しておく**
特殊な造りのお風呂などは水漏れしやすい傾向があり、シロアリ被害や床の腐食などが見られることがあります。
- その4 **災害リスクについてチェックしておく**
特に土砂災害には要注意。住宅の裏山が切り立った崖になっていて、崖の上がアスファルトやコンクリートで整備されていない場所は、土砂崩れのリスクが高いといえます。
- その5 **どんな物件でも「管理」を忘れずに**
数人でシェアをしたり、スペースとして貸し出すなど、防犯の意味でも、誰かしらが定期的に使用する環境づくりが家屋の維持につながります。管理会社さんに家屋の管理を依頼することもおすすめです。

コラム：失敗しない「二拠点居住」物件の選び方

<https://www.sakurajimusyo.com/guide/33318/>

中古一戸建てホームインスペクション

<https://www.sakurajimusyo.com/expert/tatemono-tyousa-ck.php>

■不動産の達人 株式会社さくら事務所■（東京都渋谷区／代表取締役社長：大西倫加） <https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行う「不動産の達人サービス」を提供、57,000組を超える実績を持っています。

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社さくら事務所

東京都渋谷区桜丘町 29-24 桜丘リージェンシー101

<https://www.sakurajimusyo.com/>

TEL 03-6455-0726 FAX 03-6455-0022 広報室：石原・堤 press@sakurajimusyo.com